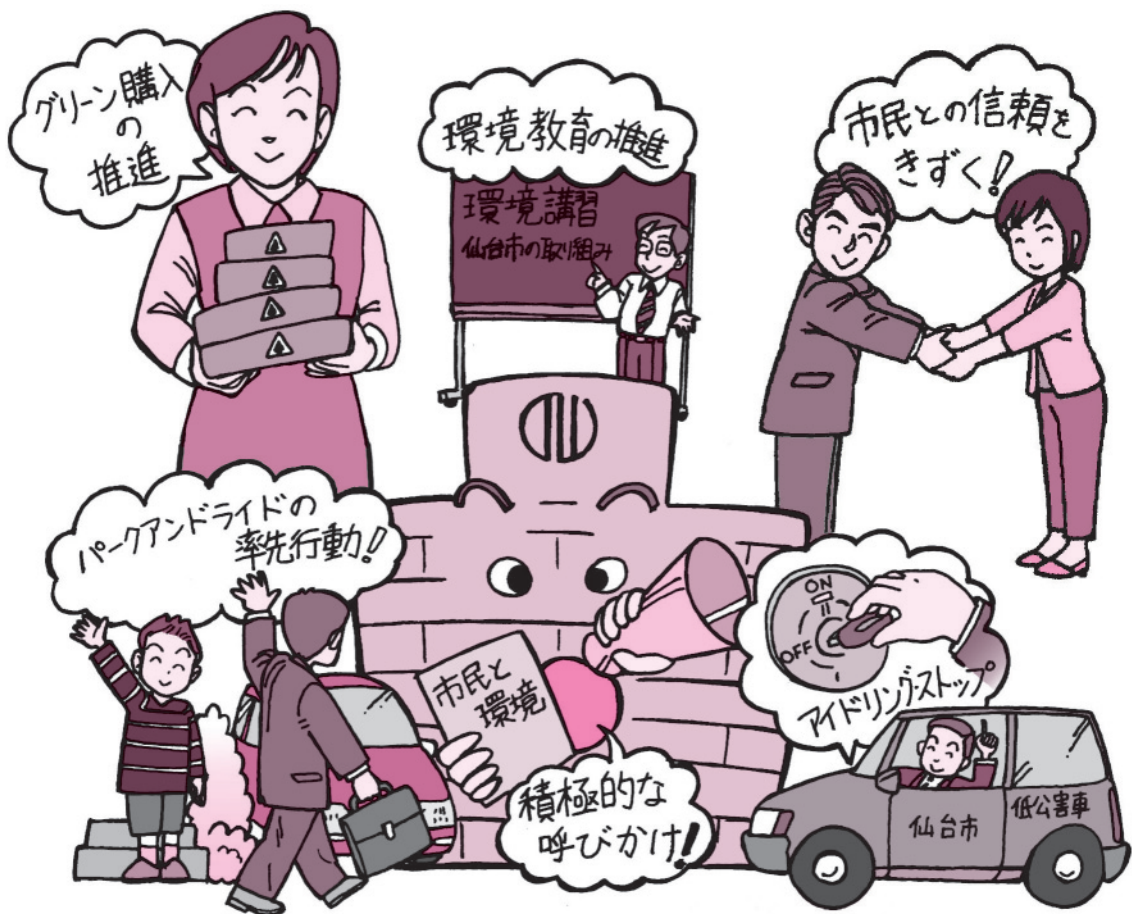


## 行政

行政は、環境教育・学習を推進する上でリーダーシップを発揮します。環境問題が多様化する現在、NPOや事業者などの役割が大きくなっていることから、行政の持つ豊富な情報や人的ネットワークなどにより、さまざまな主体を支援したり、主体間の連携を促します。

また、職員一人ひとりが環境の視点を持って、さまざまな施策の推進にあたる必要があることから、職員の環境意識を高める環境教育・学習を推進していきます。

さらに、行政も地域における一事業者として、地球温暖化防止対策やグリーン購入などの環境に配慮した行動を、市内の事業者にも率先して実践していく必要があることから、職員の取り組みを推進するためにも環境教育・学習を進めます。



5本の柱	14の取り組み	主な具体的行動
人 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人材の育成</li> <li>• 人材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民センターにおける環境講座などを通し、市民を先導できるリーダーを育成する</li> <li>• 環境に関する実績を持つ人材などを登録し、活用できる仕組みをつくる</li> <li>• 市政出前講座により、職員が講師となり環境啓発などを行う</li> </ul>
機 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• きっかけ・出会いの機会の提供</li> <li>• 学習機会の創出</li> <li>• 行動の仕組みや教材・プログラムの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民が自然に親しめるイベントなどを開催する</li> <li>• 市民の年齢や関心度合いに応じたイベントや講習会を開催する</li> <li>• 気づきや関心を行動に移せるような仕組みをつくる</li> </ul>
場	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境関連施設の充実</li> <li>• きっかけづくりのための身近なフィールドの充実</li> <li>• 市民が集まる場の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境学習コーナーなどの環境関連施設の充実を図る</li> <li>• 公園などの身近なフィールドを環境に関心を持てる場にする</li> <li>• 仙台市主催のイベントで、ごみ分別を行うなどの環境配慮行動をルール化する</li> </ul>
情 報	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 普及・啓発手法の工夫</li> <li>• 環境情報の内容の充実</li> <li>• 情報の共有化・ネットワーク化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な環境情報を様々な手法で、市民に分かりやすく伝える</li> <li>• 市民が容易に環境情報を入手できる仕組みをつくる</li> <li>• 市民の関心度合いに応じた情報の発信を行う</li> <li>• 環境関連団体やNPOなどと情報を共有できる仕組みをつくる</li> <li>• 市民がさまざまな環境情報を行政に容易に提供できる仕組みをつくる</li> </ul>
連携・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連携のための仕組みづくり</li> <li>• 活動にかかる支援</li> <li>• 地域内外との交流の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業を行う際に、企画・立案段階から市民の意見を取り入れる仕組みをつくる</li> <li>• 環境教育・学習を進める主体の活動を支援する</li> <li>• 姉妹都市などとの環境国際交流を進める</li> </ul>